

ホタテガイ採苗速報

青森県
青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

付着数は西湾1,688個/袋、東湾14,616個/袋

1 ホタテガイの付着状況

6月12日～14日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は図1および表1のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、全湾で6,977個/袋、西湾で1,688個/袋、東湾で14,616個/袋と、過去10年の平均値(全湾94,467個/袋、西湾46,838個/袋、東湾161,799個/袋)よりもかなり少なくなっています。

稚貝の平均殻長は全湾で0.62mm、西湾で0.70mm、東湾で0.52mmと、いずれも過去10年の平均殻長(全湾0.77mm、西湾0.83mm、東湾0.69mm)より小さいサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイは全湾平均で16,438個/袋、ムラサキイガイは全湾平均で4,572個/袋と、いずれも過去10年の平均値(それぞれ41,790個/袋、10,382個/袋)より少ない付着数となっています。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

全湾におけるホタテガイラーバの出現数は図2、各地の出現数は表2、図3のとおりです。

6月12日～14日に陸奥湾39定点で第11回湾内一斉ラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で667個/トン、全湾平均では1,104個/トンと、前回(それぞれ、611個/トン、1,191個/トン)とほぼ同じ状況ですが、東湾平均では1,614個/トンと、前回(1,932個/トン)よりも少なくなっています。200ミクロン以上のラーバの割合は全湾平均で73.2%、260ミクロン以上の割合は28.0%と、前回(それぞれ、56.8%、15.0%)よりも大きくなっています。

ムラサキイガイのラーバの出現数は全湾平均で658個/トン、キヌマトイガイのラーバの出現数は全湾平均で165個/トンと、過去10年の同時期の平均値(それぞれ、343個/トン、99個/トン)よりも多くなっています。

ヒトデのラーバは全湾平均で4.9個/トンと前回(12.5個/トン)よりも減少し、付着直前のブラキオラリア幼生も0.1個/トンとわずかでした。

4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場では96個/袋(7日間)、川内実験漁場では12,672個/袋(7日間)、青森市水産指導センターの後潟沖では3層平均で224個/袋(7日間)、奥内沖では3層平均で259個/袋(7日間)、油川沖では3層平均で201個/袋(7日間)、原別沖では3層平均で138個/袋(7日間)でした(表3)。

5 海況

6月11日～15日の平均水温は、平館ブイで11.2～14.4℃、青森ブイで10.7～16.3℃、東湾ブイで8.8～14.9℃でした。平年と比較すると平館ブイの1m層で「平年並み」、15m層～底層で「やや低め」、青森ブイの1m層で「やや高め」、15m層で「はなはだ低め」、30m層で「かなり低め」、底層で「平年並み」、東湾ブイの1m層および底層で「平年並み」、15m層で「はなはだ低め」、30m層で「やや低め」でした。

6 今後の見込み

稚貝の大きさが小さいことから、稚貝採取の時期は例年よりも遅れる見込みです。

大型のラーバがまだ見えており、特に東湾で多く出現していますので、今後も稚貝が付着する見込みですが、採取時期はさらに遅くなると考えられます。

間引きの必要性および時期については、6月27日に全湾臨時付着稚貝調査を実施し、6月30日発行予定の管理情報第1号に掲載しますので参考してください。

7 お知らせ

湾内一斉ラーバ調査は今回で終了いたします。ご協力ありがとうございました。

全湾臨時付着稚貝調査は6月27日に、第2回全湾一斉付着稚貝調査は7月11日にそれぞれ実施しますので、よろしくお祈りします。

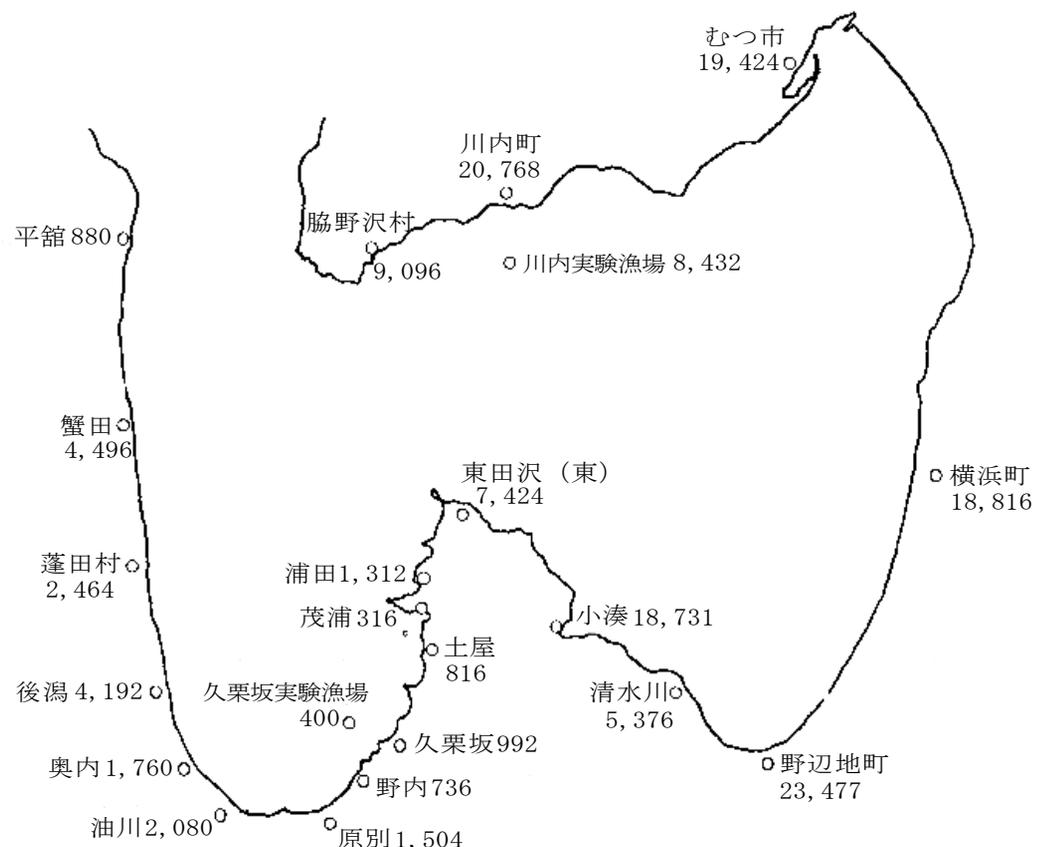


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数 (個/袋)

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/
携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224

